

講義、実習の概要

講座名	放射線安全管理コース
題目	線量測定
	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習
所要時間	3.5 時間
実施場所	R I 製造棟
	<input type="checkbox"/> 講義室 <input type="checkbox"/> 非管理区域 <input checked="" type="checkbox"/> 第 1 種管理区域 <input type="checkbox"/> 第 2 種管理区域
本講義のねらい	サーベイメータの使用法、校正法、特性、放射線減衰及び漏洩測定による線量分布の重要性について理解する。
概要	<p>(1) 各種サーベイメータの構造と使用方法について理解する。</p> <p>(2) 距離及び遮へい体によるガンマ線量率の減衰について理解する。</p> <p>(3) 2 種類のガンマ線源 (^{137}Cs、^{60}Co) を使用して、日本工業規格の実用校正方法のうち逆 2 乗法による各種サーベイメータの校正定数の評価及びエネルギー特性について理解する。</p> <p>(4) サーベイメータの方向特性について、入射 γ 線に対して検出器の角度変化による感度の違いを理解する。</p> <p>(5) 線源容器からの漏洩線量率を距離及び方向ごとに測定して等線量当量率曲線を作成し、放射線管理計画の策定における有用性を理解する。</p>
キーワード	サーベイメータ、1cm 線量当量率、校正、エネルギー特性、漏洩線量率
使用する RI、危険物、重量物等	ガンマ線源 (^{137}Cs 、 ^{60}Co)